

平成28年度 東蒲原郡総合的な学習部 活動報告

部長 伊藤 晋市

1 研究主題 「ふるさとを見つめ、地域とかかわり進んで探究する子どもの育成」

2 研究の概要

- (1) 第1回 研究主題，研究内容，活動計画の立案
- (2) 第2回 総合的な学習の時間の内容についての情報交換
- (3) 第3回 情報交換に基づいた地域（素材）巡り
- (4) 第4回 授業研究指導案検討会
- (5) 第5回 授業研究・協議会

授業者 阿賀町立三川小学校 鈴木 憲 教諭

単元名 『阿賀町の資源である森林を生かしていくために』（5学年）

指導者 阿賀野市立堀越小学校 校長 小野 裕子 様

3 研究の実際

(1) 第3回総合的な学習部会（地域素材巡り）

第2回の部会（情報交換）を受けて，各校の単元を構成する上で重要となる町内の地域素材を巡ってみた。狐の嫁入り屋敷とその裏手にある舟着き場で町のイベントや歴史に触れ，また，將軍杉や野中桜といった国指定天然記念物も実際に見学した。さらに，今年度の授業研究のテーマとなる“森林”に関連した場所として，木質バイオマス燃料（木質ペレット）製造工場や中ノ沢森林公園にも足を伸ばした。現地では，単元の構成や子どもたちの魅力となり得る活動について，生の素材に触れながら情報交換することができ，大変有意義な研修の場となった。

(2) 第5回総合的な学習部会（授業研究・協議会）

森林に関する阿賀町の取組や学習を通して知り得た森林のすばらしさについて，家族や地域の人がどれくらい知っているかを確認するアンケート項目の作成をねらいとして，授業は行われた。まずは，今までの学習で学んだことをお世話になった方々とかかわらせて振り返り，森林のよさを再確認した。次に，アンケートで聞いてみたい項目を意見交換しながら班ごとにホワイトボードに書き込んでいった。児童はうなずいたり質問したりして，学習ルールに従って活発に話し合いに参加していた。



その後，各班が書き込んだホワイトボードを黒板全面に貼り出し，理由を付けながら全体でアンケート項目を絞り込んだ。

協議会では，班や全体での検討場面の有効性を中心に議論し，意見絞り込みの場における付箋紙の活用等，個々の思いや願いを確認する方法について確認し合うことができた。また，指導者の小野校長先生からは，ホワイトボード使用のメリットやデメリット，アンケート実施範囲の広げ方と学習素材を抽象化することの難しさ等，様々なご指摘をいただいた。さらには，大単元の中での小単元の回し方，ゲストティーチャーの種類や情報交換・顔合わせの場の設定に至るまで，これから総合的な学習を充実させるためのポイントについても的確なご指導をいただいた。

4 成果と課題

- 情報交換をもとにした地域巡りでは，特色ある名所・名木・名産を実際に眺めて触れて，阿賀町のよさを再確認するとともに単元開発の上でも得るものが大きかった。
- 普段なかなか参観することの少ない総合的な学習の時間の授業を参観でき，また，実際の児童の姿や授業構成に基づいた具体的なご指導をいただけたことで，今後の指導に大いに生かすことのできる研修となった。
- 町内の各校で行われている地域素材を生かした総合的な学習の時間での学びを，今後どのように広げ，深めていったらよいのか。学校間の交流の場も含め，検討していけるとよい。

